

平成29年度 事業実施結果報告



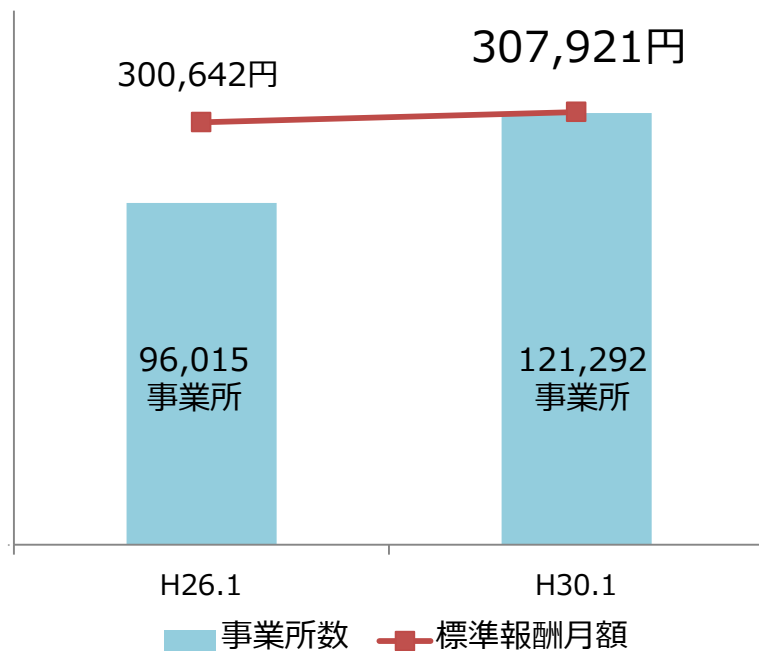
全国健康保険協会

協会けんぽ

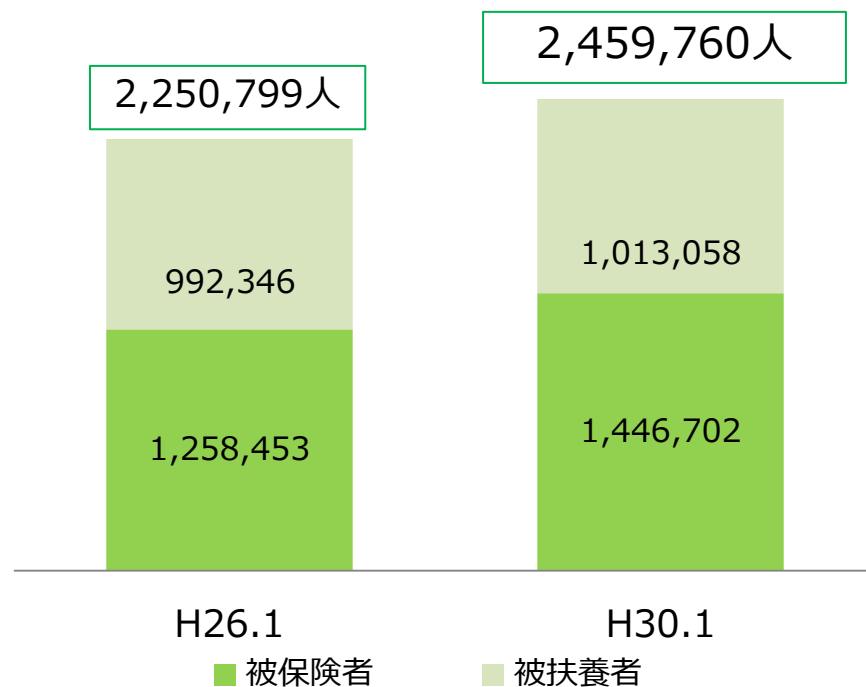
愛知支部

愛知支部の現状

◎ 事業所数 標準報酬月額 の推移



◎ 加入者数の推移



H 26→H30

事業所数 + 25,277社 (26.3%)
標準報酬月額 + 7,279円 (2.4%)

H 26→H30

加入者数 + 208,961人 (9.3%)
被保険者 + 188,249人 (15.0%)
被扶養者 + 20,712人 (2.1%)

健康経営の普及に向けた取り組み

◎ 健康宣言事業所の拡大

従業員の健康づくりに積極的に取り組むことを宣言する「**健康宣言**」に参加いただくことにより、「従業員とその家族の健康寿命延伸」、「企業の生産性向上、イメージUP」を目指す。

	H27年度	H28年度	H29年度
健康宣言事業数	57社	832社	1,740社
優良法人認定 (中小規模部門)	-	27社	52社
優良法人認定 (ホワイト500)	-	1社	4社

健康経営優良法人認定（中小規模部門）において、
愛知県が認定事業所数 **2年連続NO1** となりました。

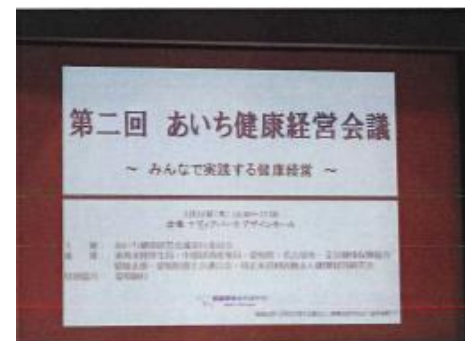
第2回あいち健康経営会議

日時 :平成30年2月22日 (木) 場所 :ナディアパーク デザインホール

主催 : あいち健康経営会議実行委員会

後援 : 中部経済産業局、東海北陸厚生局、愛知県、名古屋市
協会けんぽ愛知支部

参加人数 : 229名



関係団体が参加する中で、協会けんぽ愛知支部と加入事業所の取り組みを紹介



東海北陸厚生局 福本課長



経済産業省 山本課長補佐



パネルディスカッション
(協会けんぽと加入事業所が参加)

「地域版」健康経営セミナー

■ちた北部 健康経営会議（2会場）

主催：あいち健康経営会議実行委員会

共催：東海市、知多市、大府市、東浦町

協力：協会けんぽ愛知支部

日時	場所	参加人数
10月2日（月）	大府市役所	140名
10月12日（木）	東海市芸術劇場	101名

事例紹介においてWチャレンジ宣言の事業所から協会けんぽを活用した健康取組をご説明いただいた。

■健康経営推進セミナー（東三河地域）

日時：平成30年2月19日（月）

主催：東三河広域経済連合所属
の商工会議所

協力：協会けんぽ愛知支部

場所：豊川商工会議所

参加者：103名

蒲郡商工会議所の取組を東三河地域に広めていくために実施。愛知支部表彰、健康経営優良法人認定を受けている2社から事例報告を行った。



豊橋鉄道株式会社様
による事例報告

■刈谷市働く世代へ向けた健康づくりセミナー

日時：平成30年2月8日（木）

主催：刈谷市

後援：刈谷労働基準監督署、刈谷商工会議所など

協力：協会けんぽ愛知支部

場所：刈谷市総合文化センター

参加者：58名

刈谷市において「Wチャレンジ宣言」を始めるにあたり開催。



あいち健康プラザ
津下センター長



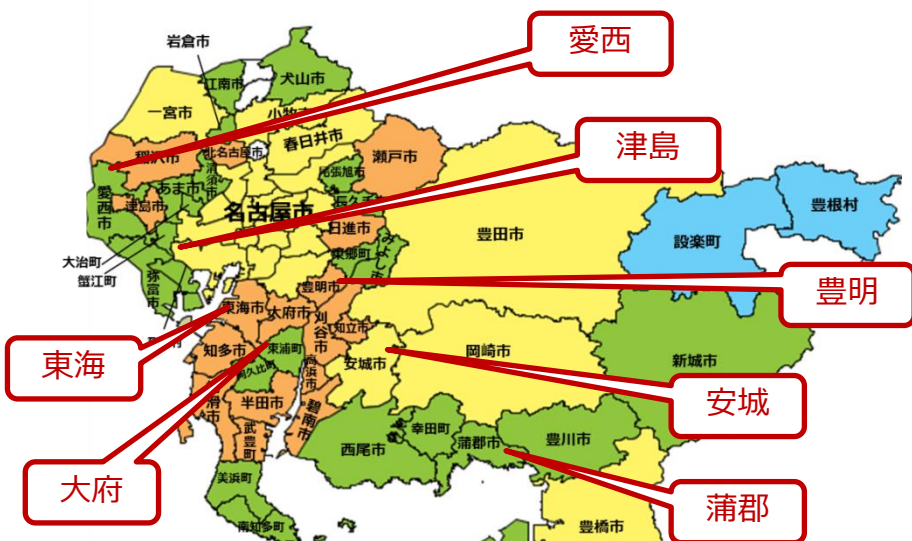
協会けんぽ職員による
健康宣言事業の説明

自治体等との連携

自治体、経済団体や民間企業と連携し「健康宣言」を推進

「Wチャレンジ宣言」

を **7自治体** で実施中



関係団体等

中部運輸局	愛知銀行
愛知県商工会連合会	中京銀行
健康保険組合連合会 愛知連合会	名古屋銀行
愛知県社会保険労務士会	愛知県信用保証協会
愛知県中小企業診断士協会	アクサ生命保険株式会社
愛知県経営者協会	住友生命保険 相互会社中部本部
愛知県商工会議所連合会	東京海上日動火災 保険株式会社



愛知運輸支局、愛知県バス協会、愛知県タクシー協会、名古屋タクシー協会、愛知県トラック協会、愛知県トラック事業健康保険組合との協定締結式 (H29.11.14)

健康宣言事業所へのサポート

◎愛知県信用保証協会による保証料割引

協会けんぽ愛知支部で「健康宣言」された事業所様を**経営面でも応援!**

あいち 健康宣言応援保証

平成29年7月1日スタート!
※※「あいち健康宣言」

協会けんぽ愛知支部で「健康宣言」された事業所様が愛知県信用保証協会の保証付で金融機関からご融資を受けられる際、**保証料が最大10%割引**される制度です

流れ

金融機関

中小企業 小規模事業者

協会けんぽ 健保連

愛知県 信用保証協会

※ 協会けんぽ愛知支部「健康宣言」認定事業所は、愛知県信用保証協会保証付融資の対象となります。保証料が最大10%割引される制度です。

◎愛知銀行・中京銀行・名古屋銀行による金利優遇

協会けんぽ愛知支部で「健康宣言」された事業所様を**三地銀も応援!**

平成29年6月1日スタート!

愛知銀行・中京銀行・名古屋銀行で

金利優遇サービスが 始まりました!

「健康宣言」された事業所様を経営面でも応援する金利優遇サービスを以下の3銀行で開始いたしました

愛知銀行	中京銀行	名古屋銀行
事業所向け ローンの金利優遇	事業所向け・ 従業員とその家族向け ローンの金利優遇	事業所向け・ 従業員向け ローンの金利優遇

※ 平成29年6月1日、愛知県内における中小企業の健康経営の取り組みをサポートし、地域社会の健康増進と県内の中小企業の発展に寄与することを目的として、愛知銀行・中京銀行・名古屋銀行と業務提携・協力に関する覚書を締結しました。

◎健康宣言好事例集 社員の健康づくりに向けた効果的な取り組みを紹介

健康宣言 好事例集

～職場の健康づくりハンドブック～

社員の健康を重要な経営資源と捉え、積極的に社員の健康づくりを行う「健康経営」に取り組み企業が増え、広がりを現しています。この好事例集では、すでに健康宣言に参加し、「健康経営」に取り組んでいる企業の事例を紹介しています。紹介させていただいた事例を参考に、貴社にあった職場の健康づくりを「健康宣言」してください。

※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録事業です。

全国健康保険協会 愛知支部
協会けんぽ

◎健康宣言サポートBOOK 協会けんぽのサポート内容をまとめた冊子を配布

全国健康保険協会 愛知支部

健康宣言 サポートBOOK

健康づくりに活用できる協会けんぽのサポートメニューを紹介!

目次

- 1 社内・社外への周知に「認定証」を掲示
- 2 協会けんぽの健康づくり事業
- 3 健康宣言のメリット

1 社内・社外への周知に「認定証」を掲示

「健康宣言チャレンジ認定証」と取組内容記載用紙の使い方

貴社の目標を、同封の用紙に記入!

認定証とともに目につくところに掲示!

健康宣言
従業員の方々の健康増進に積極的に取り組みます

取組内容記載用紙

- 健康宣言の取組内容
- 社内全従業員
- 毎月10日(健康づくりの日)に健康診断を実施する
- 1人1冊の健康宣言カード
- 健康宣言の取組内容を定期的に報告する
- 全従業員に健康宣言カードを配布する
- 健康宣言の取組内容を定期的に報告する

掲示板で

受付で

ホームページで

社内・社外に向けて「健康宣言中」をアピールしましょう!

👉 目標は1年ごとに見直ししましょう

毎年4月に新年度分の認定証をお送りします。1年を振り返って継続チャレンジ!

関係団体との連携

■職場のメンタルヘルスセミナー

- 開催日：平成30年3月9日（金） ○場所：中小企業振興会館 7階メインホール
- 主催：協会けんぽ愛知支部、健康保険組合連合会愛知連合会 後援：愛知労働局
- 333名（協会けんぽ312名、健保連21名）

- 【第1部】 4月から変わる雇用のルール
講師：愛知労働局雇用均等部指導課課長 鹿島 篤 氏
- 【第2部】 メンタル不調者を出さない職場づくり
講師：愛知産業保健総合支援センター
メンタルヘルス対策促進員 鈴木 司 氏
- 【第3部】 知って安心！精神障害のある社員との接し方
講師：精神障害者雇用トータルサポーター 高橋 綾子 氏
- 【第4部】 使える支援・もらえる助成金 産保センター活用術
講師：愛知産業保健総合支援センター副所長 山本 祥喜 氏

労働局との協力により、メンタルヘルスに関する「法律改正」「予防」「対策」「助成金」を一度に学べるセミナーとして企画



左から 芦田支部長、高橋氏、鈴木氏、山本氏、健保連吉田常務理事

■がんサポートセミナー

- 日時：平成29年9月20日（水） 場所：名古屋市中区役所ホール
- 主催：協会けんぽ愛知支部、愛知県、名古屋市、NPO法人ミーネット
- 後援：愛知県商工会連合会、愛知県中小企業団体中央会、愛知県社会保険労務士会、愛知県社会保険委員会連合会、健康保険組合連合会愛知連合会
- 参加者：280名

「働く世代のがん予防と職場のがん対策」をテーマに
関係団体と共同でセミナーを開催

なごや55がん征圧キャンペーン2017
がんサポートセミナー
～働く世代のがん予防と職場のがん対策～

40代から50代前半にかけては、がんの発症リスクが高くなります。日本人の2人に1人がかかるといわれるがんは、やはり働く世代でもあります。大切な健康の一大柱を「がん」から守るために、職場にほんとは対策が求められるのでしょうか。セミナーでは、がん予防の観点から「がん」について、企業では、健康と生産性の両面から「がん治療と仕事の両立」について考えます。

日時 平成29年9月20日（水） 14:00～16:00（開場 13:30）
会場 中区役所ホール 中区役所 地下1階
名古屋市中区栄四丁目1番6号（地下鉄栄駅12番出口より徒歩1分）
定員 500名（即申込、先着順） **入場無料** 複数名の参加歓迎

講演
働く世代のがん予防
愛知県がんセンター研究所 遺伝子医療研究部長 伊藤秀美先生
がんの原因や予防方法など、最新の知識を元に、働く世代のがん予防としてどのような生活習慣や職場環境が望ましいかなどについてお話しいたします。

パネルディスカッション
がん治療と仕事の両立～当事者の声を聞く
赤羽乳癌クリニック 院長（乳がん専科 専任医師）赤羽和久先生（コーディネーター）
産後を経て、乳癌発症として患者の治療と仕事の両立を求めている医師のコーディネートにより、3名のがん経験者が、がん治療を続けながら仕事に取り戻した経緯を語ります。
パネリスト：安藤麻由（日産自動車社員）、藤村三千代さん（環境開発会社勤務）、佐藤麻里さん（情報処理開発会社勤務）

医師会・歯科医師会・薬剤師会との連携

◆定期意見交換会

愛知県医師会

日時：平成29年11月10日（金）
場所：愛知県医師会館5階 医師連盟会議室
内容：①傷病手当金の療養担当者意見欄の記入について
②ジェネリック医薬品の使用促進について



◆平成29年度ウェルネス8020表彰

愛知県 歯科医師会

日時：平成29年9月16日（土）
場所：あいち健康プラザ ヘルスサイエンスシアター
内容：協会けんぽ表彰として平成28年度に実施した成人期
口腔ケア推進事業等にご協力いただいた事業所を表彰



◆ベテラン薬剤師さんが教える 家庭の医学講座（セミナー）の開催

愛知県 薬剤師会

～目薬の正しいさし方からジェネリックまで～

日時：平成29年8月2日（水）
場所：津島市文化会館 小ホール
参加者数：155名

講師：一般社団法人 津島海部薬剤師会 副会長 浅井 敦子氏

愛知県でジェネリック使用割合が低い海部地域の住民をターゲット
に開催

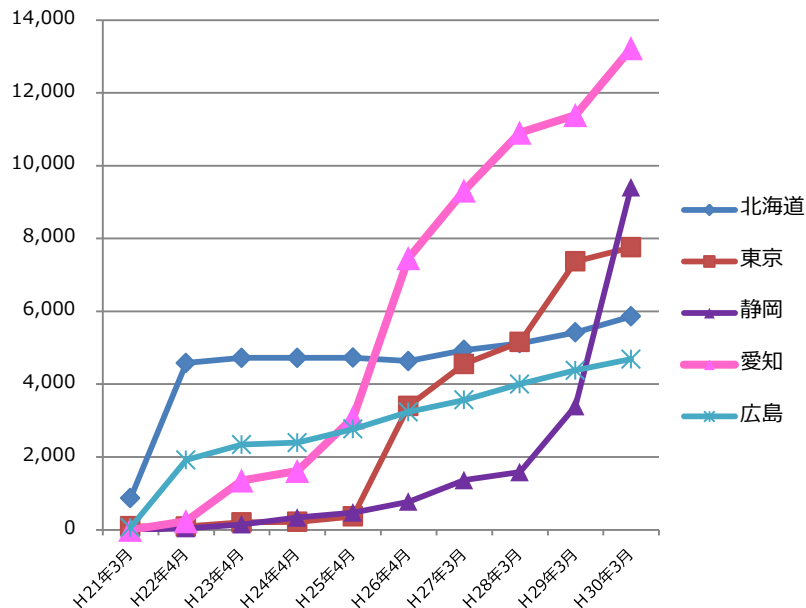


健康保険委員の委嘱拡大

被保険者カバー率

44.0% (平成30年3月末時点)

【委員数 上位5支部の推移 (H30.3時点)】



	H21年 3月	H22年 4月	H23年 4月	H24年 4月	H25年 4月	H26年 4月	H27年 3月	H28年 3月	H29年 3月	H30年 3月
北海道	873	4,581	4,722	4,724	4,725	4,633	4,936	5,123	5,423	5,859
東京	94	90	204	220	366	3,403	4,557	5,159	7,372	7,759
静岡	0	42	148	335	472	771	1,366	1,585	3,397	9,409
愛知	0	239	1,352	1,617	3,090	7,465	9,313	10,904	11,395	13,232
広島	66	1,920	2,343	2,394	2,765	3,236	3,567	4,002	4,382	4,687

◎ 健康保険委員表彰式

日時 平成29年11月7日 (水)

協会けんぽの健康保険事業等の推進にご協力いただいている健康保険委員を表彰

厚生労働大臣表彰：2名

理事長表彰：6名

愛知支部長表彰：41名



健康保険委員の表彰の様子

健康保険実務研修会

◎平成29年度 実施状況

研修・講座名	回数	参加人数
健康保険事務基礎講座	3	356
健康保険事務実践講座	3	457
退職事務手続き研修会	2	458
出産事務手続き研修会	1	262
社会保険委員会事務研究会	14	1,315
社会保険事務講習会 (社会保険協会)	12	378
算定基礎説明会 (日本年金機構)	11	1,395
社会保険労務士研修会	3	112
合計	49	4,733



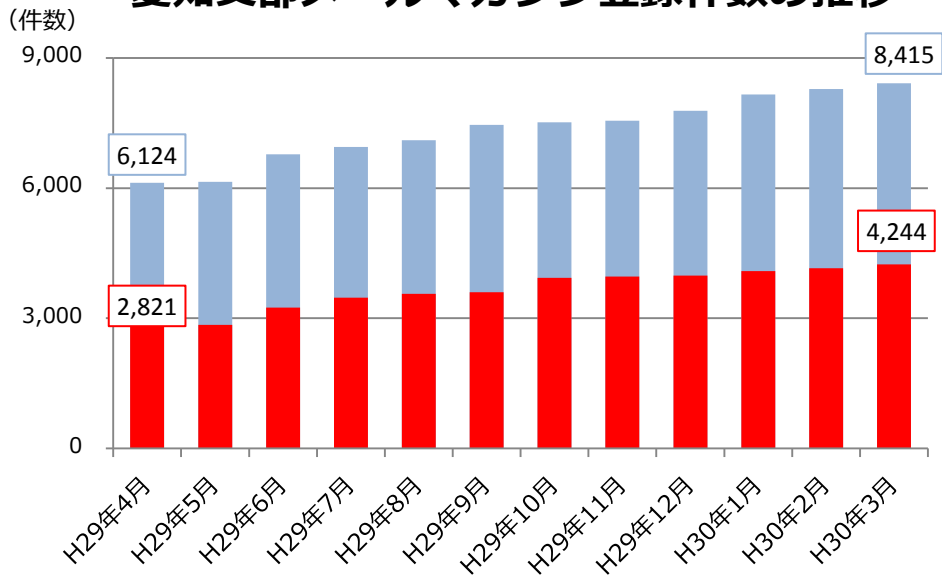
平成29年度健康保険事務基礎講座の様子



平成29年度健康保険事務実践講座の様子

メールマガジン

愛知支部メールマガジン登録件数の推移



※赤棒 ■ は各月の10日頃に登録属性が「健康保険委員」の方に配信した件数

配信日	毎月2日と22日に月2回定期配信。さらに、登録属性が「健康保険委員」の方には10日頃に「けんぽ委員だより」を配信。
配信内容	<ul style="list-style-type: none"> 健康保険料率の改定 セミナー・イベント情報 等

メールマガジン件数 全国ランキング

愛知支部は配信件数、増加件数ともに全国2位の実績

順位	支部名	H30年3月 配信件数	H29年度 増加件数
1位	大阪支部	10,588件	1,120件
2位	愛知支部	8,415件	2,757件
3位	静岡支部	8,376件	4,268件
4位	東京支部	6,904件	1,907件

若年層への啓発活動

■ 職場体験の受け入れ

◎ 愛知県立小坂井高等学校

開催日 : 平成29年8月24日 (木)

参加者数 : 2年生の男子6名、女子11名

◎ 私立豊川高等学校

開催日 : 平成29年12月12日 (火)

参加者数 : 2年生の男子3名、女子7名

◆ 内容

- ① 社会人として必要な素養について
- ② 協会けんぽの事業について
(給付、健診業務等)
- ③ CSについて
- ④ その他
(新人職員インタビュー)



協会けんぽの取組みや制度について説明

■ 看護学校への出前講座

○ 平成29年度は9講座実施 (参加者合計 : 671名)

○ 内容 : 将来の医療現場等で実務に役立つ知識 (健保制度の解説や協会けんぽの取り組みを紹介) を理解してもらい、今後に活用

下期実施分

12/21 (木)	岡崎市立看護専門学校	2年生	40名
2/1 (木)	愛知県立看護専門学校	3年生	73名
2/26 (月)	藤田保健衛生大学看護専門学校	3年生	37名
3/7 (水)	公立春日井小牧看護専門学校	2年生	34名



調査研究の取り組み

第4回協会けんぽ調査研究フォーラム (ポスター発表)

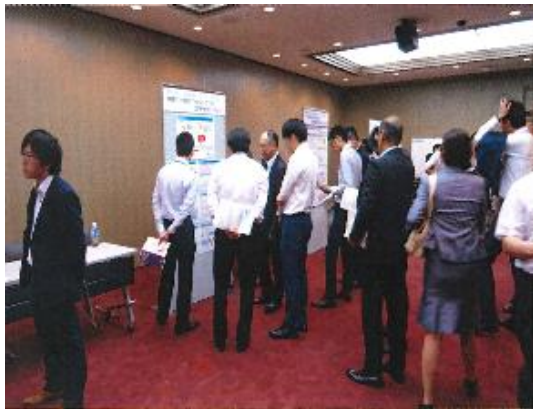
演題

「奥様にも健診プロジェクトの効果検証について」

日時：平成29年5月31日（水）

場所：一橋大学一橋講堂（東京都千代田区）

内容：平成28年度のパイロット事業である「奥様にも健診プロジェクト」の参加事業所465社と未参加事業所との受診率の違いや受診率が伸び悩む課題を発表。



【発表の様子】

第76回日本公衆衛生学会 (ポスター発表)

演題

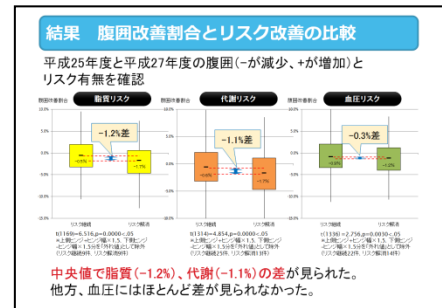
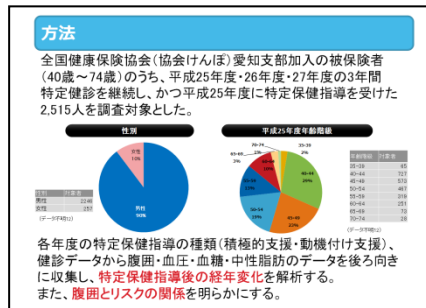
「特定保健指導の効果とその経年変化」

日時：平成29年11月2日（木）

場所：かごしま県民交流センター（鹿児島県）

内容：特定保健指導の効果検証として、平成25年度から27年度の3年間における腹囲の改善割合やメタボリスク保有率割合の減少を示し、特定保健指導の有効性を発表。特に中性脂肪は平成26年度の対前年度比において大きな減少が見られた。

【資料】



ジェネリック医薬品の使用促進

■ ジェネリック医薬品軽減額通知

- 目的：先発医薬品からジェネリック医薬品に切り替えた場合の具体的なお薬代の軽減額を通知する
- 実施月：平成29年8月（平成29年3月・4月診療分）
平成30年2月（平成29年9月・10月診療分）
- 対象：医科レセプト600円以上及び調剤レセプト50円以上の軽減が可能な20歳以上の加入者
- 件数：平成29年8月 208,106件
平成30年2月 197,296件

ジェネリック医薬品をお使いいただくと
あなたの窓口負担額を減らすことができます

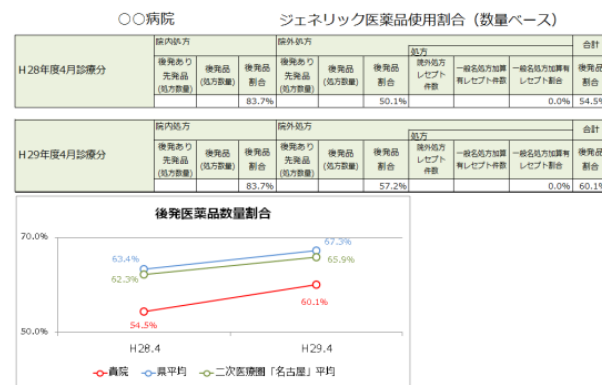
平成29年3月に処方されたお薬のうち、 以下の医薬品をジェネリック医薬品に変更した場合	お薬代の軽減可能額 4,660円～
------------------------------------------------	-----------------------------

平成29年3月 診療分で処方されたお薬（先発医薬品）			ジェネリック医薬品に変更することで軽減できるお薬代
医療機関/薬局	お薬名	お薬代（お薬代）	
薬局	〇〇〇〇カプセル 100mg	5,690	2,710～
	〇〇〇〇点眼液（0.1%）	1,850	1,130～
医療機関	〇〇〇〇テープ 40mg	2,490	820～

通知 見本

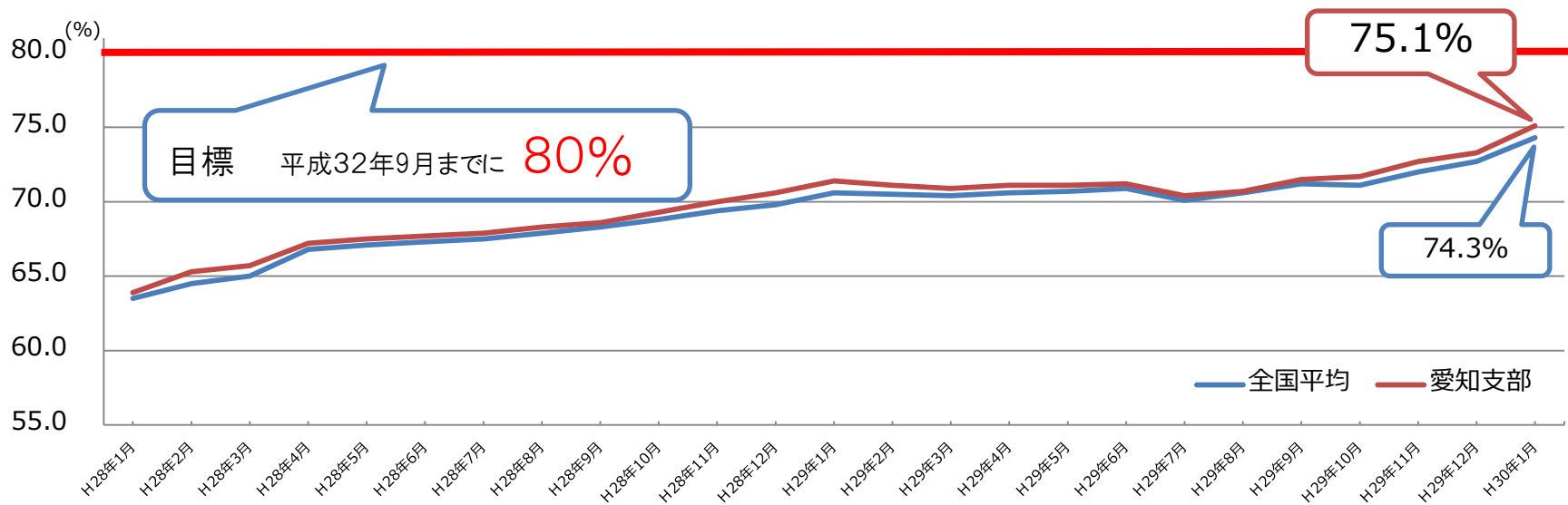
■ 医療機関への情報提供

- 実施：平成29年12月4日送付
- 目的：県や二次医療圏との使用割合の差を認識いただき、ジェネリック医薬品使用促進の参考にしていただく
- 対象：10月20日開催の名古屋市内公立病院対象の医事研究会に参加した13公立病院
- 内容：医療機関毎の平成28年4月診療分と平成29年4月診療分のジェネリック医薬品処方状況（県平均、二次医療圏平均との比較など）

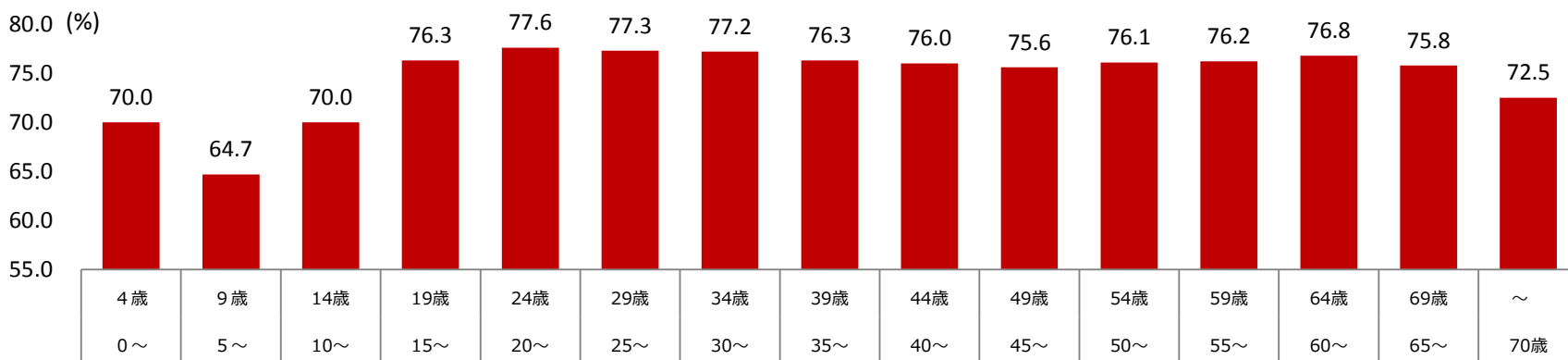


ジェネリック医薬品の使用促進

■ ジェネリック医薬品使用割合（平成30年1月）



■ 年齢階級別ジェネリック医薬品使用割合（平成30年1月愛知支部）



健診受診率向上対策（被保険者）

◎ 生活習慣病予防健診の受診拡大

（1）健診機関への協力要請

平成28年度を上回る受診者数の獲得を要請。

対象健診機関 142機関 受診者数 21,144人増加 ※（請求ベース）

（2）新規加入事業所への勧奨強化

新規加入事業所に対して、早期に電話勧奨を実施。

実施件数	受診人数
7,624社	2,146名

※（平成30年1月分まで）

（3）外部委託業者による未受診事業所への電話勧奨

未受診事業所へ健診案内を送付後、さらに電話勧奨を実施。

	電話勧奨件数	受入事業所	受診者数
平成28年度	10,000件	565社	974人
平成29年度	10,000件	1,049社	1,267人

※（平成30年1月分まで）

健診受診率向上対策（被保険者）

◎ 事業者健診結果データの取得拡大

- (1) 健診機関による同意書の取得と結果データの早期提供を要請
タイムリーな保健指導につなげるため、結果データの提供件数
の拡大と、健診後3ヶ月以内の結果データ提供を要請。

	28年度	29年度
実施健診機関（40機関）	30,110人	27,673人

データ提供を求めるのは？

協会けんぽの健診をご利用でなく、
労安法の定期健診を受診している方
は、健診結果をご提供いただかない
と受診率にカウントされません。
また、リスク保有者への保健指導の
ご案内もできません。

- (2) 外部委託業者による電話勧奨の強化
データ提供件数の拡大を図るため、
9月から3月まで実施。

	勧奨事業所	同意書 取得件数	取得者数
平成28年度	3,332社	291件	4,243名
平成29年度	3,013社	761件	4,219名

- (3) 社会保険労務士への協力要請
社会保険労務士に事業者健診を受診している
顧問先事業所からの同意書取得を要請。

	勧奨事業所	同意書 取得件数	取得者数
平成28年度	52社	18件	147名
平成29年度	52社	25件	87名

健診受診率向上対策（被扶養者）

◎ 特定健診の受診拡大

（1）協定市町との連携

①協定市町との特定健診・がん検診の共同案内の実施

⇒ **46市町**

②協定市町との特定健診・がん検診の合同検診の実施

⇒ **7市町**

③健康イベントでの啓発ブース出展

9市（下期は津島市、瀬戸市、長久手市、日進市で実施）



共同出展ブースの様子（津島市民まつり）



共同出展ブースの様子（ながくて健康展）

（2）商業施設における集団健診

集客力のある会場で集団健診を実施。（29年度から開始）

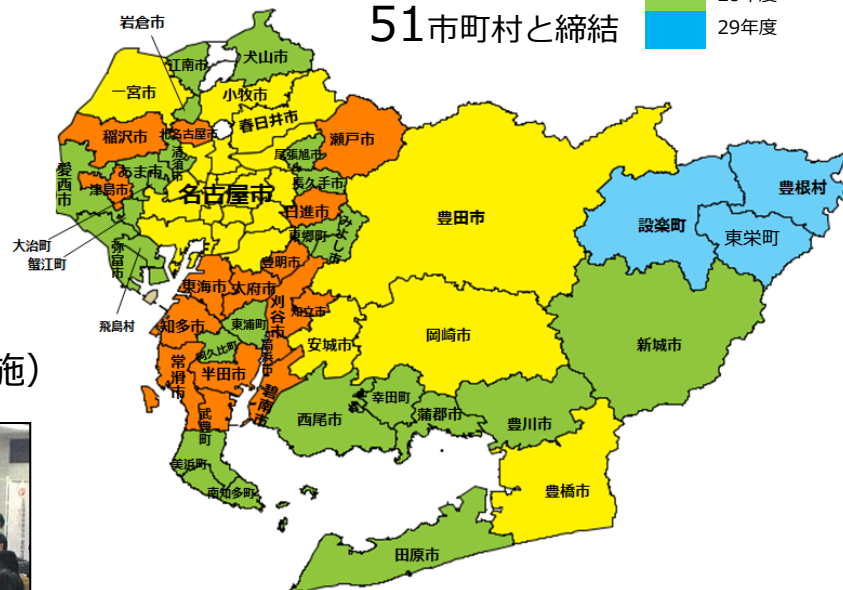
【会場】ドラッグスギヤマ 植田店（2月19日実施）

【受診者数】39人（40人の枠に対し90人の応募）

協定締結状況



51市町村と締結



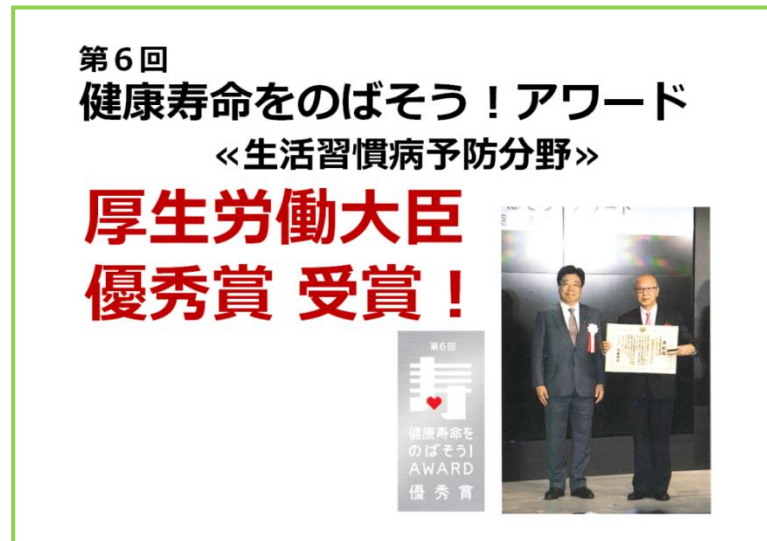
骨密度の測定も実施

健診受診率向上対策（被扶養者）

（3）奥様にも健診プロジェクト

28年度に引き続き、夫（被保険者）が勤める会社の事業主名で奥様（被扶養者）への健診受診勧奨を実施。

	参加事業所数	対象被扶養者数
平成28年度	465社	6,019人
平成29年度	865社	11,533人
前年比	186.0%	191.6%



（4）過去5年間分の健診データを活用した健診未受診者勧奨

「過去5年間に1回以上、健診を受診した記録がある」が、本年度は健診を受けていない方に対し、過去5年間の健診結果を踏まえた健康情報をグラフ等でわかりやすく表示した個人勧奨シートを同封して受診勧奨を実施。

（名古屋市内の10,000人に送付。現在効果検証中）

▼健康診断結果表様の健康診断の結果推移△

過去の結果を掲載

個人ごとのアドバイス

- ・BMIは基準値を超えています。
- ・腹囲は早急して基準値的でした。以前より悪化していると基準値に該当し、メタボリックシンドロームのリスクが高まります。
- ・検査項目別アドバイス
 - ・腹囲が基準値を超えた状態は、内臓脂肪が多い状態と考えられます。内臓脂肪から分泌される物質は、高血圧や高血糖、脂質異常などを引き起こしています。
 - ・肥満は血圧高値、脂質異常、脂質代謝異常に悪影響を及ぼす原因となり、心臓病のリスクが高まります。
 - ・LDLコレステロール値が高くなると、動脈硬化の進行を促し、心臓病のリスクを高めます。動物性脂肪の摂り過ぎはLDLコレステロール値を上げ、それらを使った洋菓子、肉の脂身の摂り過ぎには気をつけてください。
 - ・数値が改善していませんか？アルコールは生活習慣病のリスクを高めます。
 - ・現在も喫煙していますか？たばこは血管を収縮させ血圧を上げたり、HDLコレステロールを減少させ、動脈硬化を促進させます。禁煙にチャレンジして、将来のリスクを減らしましょう。
- ・総合アドバイス
 - ・前回の健診の結果から生活習慣の改善が必要と思われます。上記コメントを参考に生活習慣を改善し、健診で結果を確認しましょう。早寝も兼ね、生活リズムが変化することで、気づかないうちにあなたの状態は変化していきます。年に一度は健診前で現在の状態を確認してみましょう。

— アドバイス監修：公益財団法人 北陸医科大学研究所 —

保健指導実施率向上対策

◎ 保健指導の利用拡大

(1) 保健指導委託実施機関の拡大

保健指導の利用拡大のため、健診機関等に保健指導の体制確保を要請した。

平成29年度新規契約 **16**機関 ⇒ 合計 **102**機関

(2) 事業所での健康づくり講座を活用した保健指導の促進

保健指導対象者も含めて従業員全員に健康づくり講座を実施することで興味を誘い、対象者の個別指導につなげた。

	実施事業所	講座参加者	保健指導実施数
H28	22社	1149人	28人
H29	47社	1362人	106人

(3) 保健指導専門機関の有効活用

保健指導未実施事業所の新規開拓、夕刻・土曜日等を希望する事業所や県外在住の対象者への保健指導を委託実施した。

	H28	H29
初回面談実施者数	674人	802人

(4) 支部来所型保健指導の拡大

アクセスの良さと肌年齢や血管年齢測定などの付加価値をPRすることで、支部「健康相談室」での保健指導が拡大した。

	H28	H29
来所相談	339人	637人

サービス向上のための取り組み

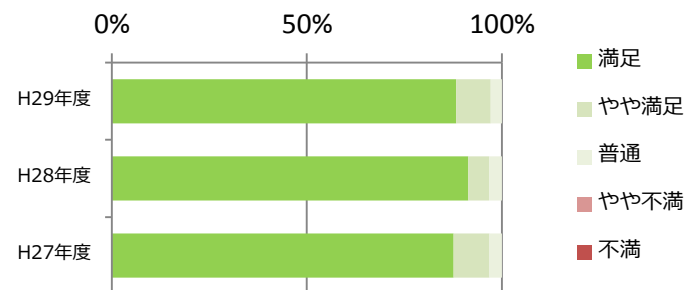
◎お客様満足度調査の結果について

①窓口アンケート調査（満足・やや満足の合計割合）

	愛知支部	全支部平均
H29年度	97.1%	97.6%
H28年度	96.7%	97.4%
H27年度	96.8%	96.8%

■窓口アンケート調査

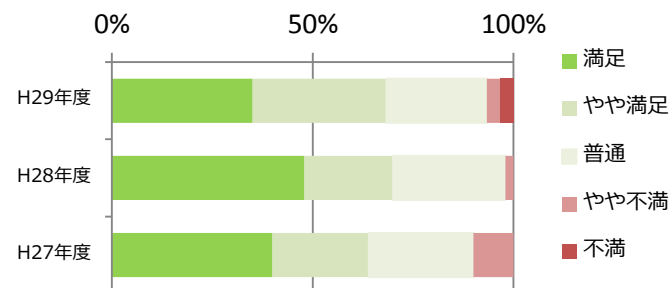
支部窓口に来訪されたお客様によるアンケートへの自記入式



②架電調査（満足・やや満足の合計割合）

	愛知支部	全支部平均
H29年度	68.3%	60.1%
H28年度	70.0%	59.9%
H27年度	64.0%	57.8%

■架電調査：委託先の調査員による架電覆面調査



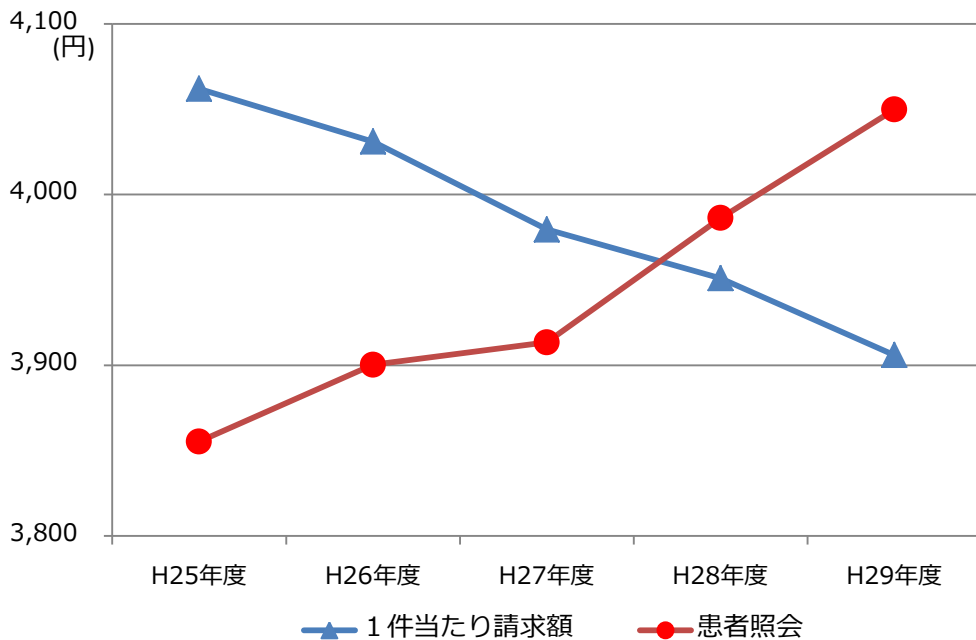
保険給付適正化の取り組み

◎ 柔道整復療養費

通院日数の多い方や負傷部分の多い方などに照会文書にて確認を行い、請求書との整合性の確認をおこなう。



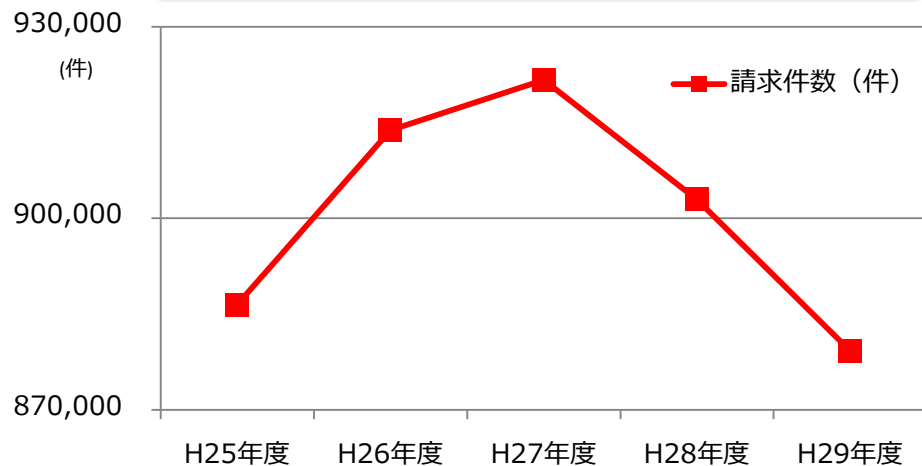
患者照会数と1件あたりの請求額の推移



	患者照会数合計	1件あたり請求額(円)
H25年度	6,211	4,062
H26年度	8,010	4,031
H27年度	8,537	3,980
H28年度	11,448	3,951
H29年度	13,989	3,906

保険給付適正化の取り組み

請求総件数の推移



	請求総件数(件)
H25年度	886,468
H26年度	913,787
H27年度	921,709
H28年度	902,946
H29年度	879,192

⇒平成28年度より一件当たりの請求額だけでなく請求件数も減少している。

【新規開業柔道整復師講習会の開催】

日時：平成30年1月18日（木）
 場所：ウインク愛知903会議室
 参加者数：35名

保険請求について正しく理解いただくことで、不正請求の減少を図る。

内容

- ・申請書の記載内容など請求におけるポイント
- ・保険請求の留意事項について



講習会の様子

保険給付適正化の取り組み

◎療養費(治療用装具)

愛知支部は治療用装具の支給件数が他支部に比べ非常に多く、関係団体と連携して適正化を推進中。

平成27年度支給状況

支部	支給件数	被保険者数(年度末)
東京	18,221	2,581,127
大阪	21,613	1,779,707
愛知	21,469	1,346,343

療養費セミナー WG 中間報告

日時：平成29年9月1日(金)

場所：名鉄ニューグランドホテル

参加者数：138団体、209名

内容：既製品装具におけるメーカー名、商品名の記載について報告



療養費WG 小児弱視に関する講習

日時：平成30年1月31日(水)

場所：愛知支部第一会議室

参加者数：31団体、35名

内容：眼科専門医より小児弱視に関する基礎知識を学ぶ



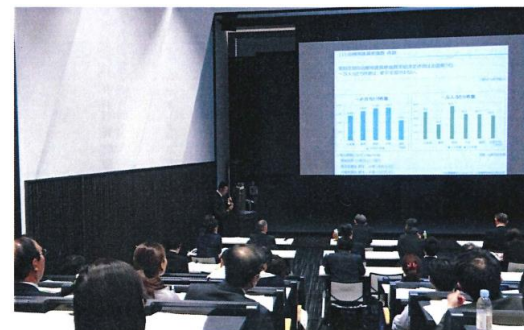
療養費WG 活動報告会

日時：平成30年3月19日(月)

場所：愛知県歯科医師会館

参加者数：126団体、179名

内容：治療用装具の支給実績の報告及び調査研究事業について紹介



債権回収の取り組み

平成29年度債権発生/回収状況							(単位：円)	〈参考〉
	期首残高	新規発生	取消・消滅等	回収	残高	回収率	前年回収率	
返納金	479,580,832	503,829,646	100,165,577	413,153,857	470,091,044	46.85%	45.44%	
損害賠償金	62,281,677	516,437,322	50,561,846	476,221,800	51,935,353	89.77%	84.32%	
診療報酬返還金	37,301,925	114,433	0	11,418,974	25,997,384	30.52%	31.96%	
その他	314,999	373,630	4,047	21,047	663,535	3.74%	87.95%	
合計	579,479,433	1,020,755,031	150,731,470	900,815,678	548,687,316	62.14%	59.32%	

・返納金：主に資格喪失後の受診により発生する債権 ・損害賠償金：主に第三者行為により発生し、相手方に求償を行う債権 ・診療報酬返還金：不当な診療報酬請求により発生する債権

●法的手続きによる回収

29年度実施数：153件 36,285,984円

(28年度実施数：120件 30,509,829円)

支払督促実施結果（抜粋）

	29年度回収額 (前年度比増減率)	28年度回収額
完納	2,224,524円 (+110.1%)	1,058,792円
分割中 (回収見込含)	6,208,707円 (+5.5%)	5,887,125円

●保険者間調整による回収

29年度回収額：83件 54,399,932円

(28年度回収額：41件 49,119,172円)

- ・無資格受診によって発生した債権を元加入者が納付することが困難な場合、資格のある国保へ請求することで回収

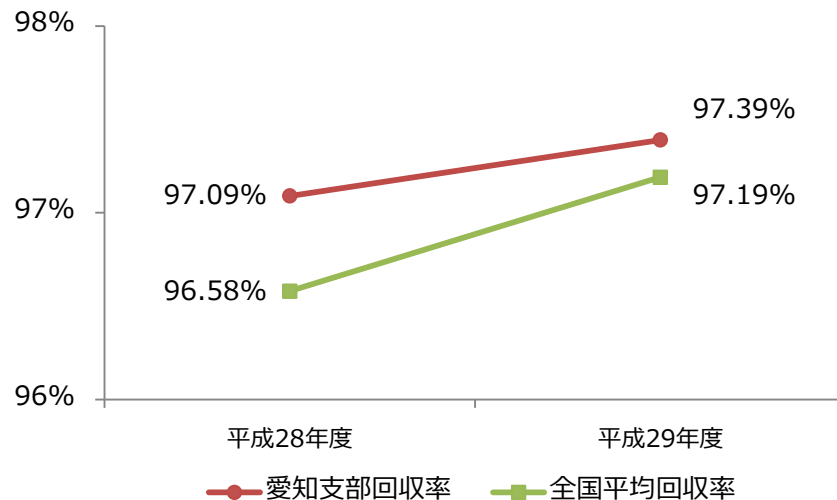
保険証 早期回収の取り組み

◎ 保険証の回収状況

全国平均を上回る回収率を継続している。

	平成28年度 (H28.4-H29.1)	平成29年度 (H29.4-H30.1)
回収対象枚数	372,664枚	360,811枚
愛知支部回収率	97.09%	97.39%
全国平均回収率	96.58%	97.19%

【平成30年2月28日現在】



回収に関する施策・効果

- 保険証の返納催告文書の送付サイクルを短縮化
- 保険証未返納者と債権の発生件数が多い事業所に対する督促の強化
- 退職後の保険証使用に関する7ヶ国語のチラシを作成し、市区町村・国際交流協会・日本語教室等に配布し、外国籍加入者へ保険証の適正使用を周知させた。

→平成29年度の無資格受診の返納金発生件数は平成28年度と比較して約940件減少し、平成28年度以前に訪問した事業所で平成29年度の返納金発生件数が減少している傾向が見られた。



7ヶ国語チラシ

保険給付の適正化（レセプト）

上段：平成29年度実績
下段：加入者一人当たり換算

◎レセプト点検状況

内容点検

- ・診療内容が健康保険法等の基準に照らして適正か確認
- ・疑義のあるものは支払基金経由で査定



査定効果額

255,479,530円
104円（前年度95円）

- 点検員の能力向上：スキルアップ研修
・本部実施 → 平成29年4月（新規採用者向け）、6・7月（医科・歯科別）
・支部実施 → 平成29年8・9月（医科・歯科別）、平成30年3月（支払基金職員による研修会）
審査医師による医学的な助言指導（毎月）
- 支払基金との協議：再審査により査定が認められなかったレセプトのうち101件について協議し、55件が再認定

外傷点検

- ・けがの原因が第三者行為や業務上災害に該当しないか
負傷原因照会にて確認
- ・点検結果に応じて損害賠償請求又は返還請求



点検効果額

570,957,300円
233円（前年度259円）

- 負傷原因照会件数：10,184件
- 第三者行為届受付件数：2,206件
- 医療機関を対象とした事務説明会

資格点検

- ・加入資格の有無、記号番号、氏名、生年月日等を確認し、
資格喪失後受診の場合は医療機関に照会
- ・点検結果に応じてレセプト返戻又は加入者に返還請求



点検効果額

2,376,113,775円
972円（前年度935円）

- 医療機関照会件数：44,925件
- オンライン資格確認により協会けんぽへの請求前に支払基金から医療機関への返戻件数：70,691件
- 医療機関を対象とした事務説明会